

グリーンセンターの創意工夫に賞



「JA資材店舗CS甲子園2023」の結果が発表され、参加した126JAの503店舗のうち、大型陳列部門で雄和グリーンセンターが、簡易陳列部門で御野場グリーンセンターが審査員特別賞「ビープ賞」に輝きました。同コンテストの東北ブロックでは、若美グリーンセンターと追分グリーンセンターが事業所長賞を受賞しました。

4店舗は肥料や除草剤の特長がわかりやすいように陳列方法などに工夫を凝らし、のぼりや手作りのPOPなどを使って来店者の興味を引くにぎやかな売り場を作り上げました。

同コンテストは利用者満足度（CS）を高められるような魅力的な資材店舗づくりを競うもので、毎年当JAのグリーンセンターが入賞を果



たしています。今後も生産者の役に立ち、快適にご利用いただける店舗運営に継続して取り組みます。

- 1 … 雄和グリーンセンター
- 2 … 御野場グリーンセンター
- 3 … 若美グリーンセンター
- 4 … 追分グリーンセンター



東北農政局長らが大田圃場を視察

11月2日(木)、東北農政局の前島明成局長らが潟上市天王の大豆の生産現場を訪れ、生産者や当JA役員と今年産の大豆の品質や集荷状況などの情報を交わしました。前島局長らは、長年大豆と水稲のブロックローテーションに取り組み大豆採種圃場の指定を受けている羽立集落営農組合の圃場を視察し、今年天候や生育、刈り取り作業の経過などを生産者から伺いました。当JAの天王カントリーエレベーターでは乾燥調製施設に運搬された今年産の大豆や施設設備などを観察し、大豆の産地の現状を確認しました。

圃場で意見を交わす前島局長(右から2人目ら



JA役職員に「トリックオアトリート！」

ハロウィーンの10月31日(火)、やどめ保育園の園児がカラフルな仮装に身を包み、近隣の商店街を練り歩きました。JA秋田なまはげ会館にも訪れ、子どもたちは正面入口で迎えた当JAの役職員に向けて「トリックオアトリート！」と元気よく叫びました。子どもたちは行儀よく並んで順番に役職員からお菓子を受け取り、笑顔で「ありがとうございます！」とお礼を言いました。

当JAでは昨年度から、ハロウィーンに合わせて同保育園の子どもたちにお菓子を贈っています。

JA役職員からお菓子を受け取る園児